

冬 合 宿 八ヶ岳（赤岳主稜） 記録 金井

2018年12月30日～2019年1月1日 金井・江川・河本

30日（晴）横須賀(6:30)～（中央高速）～美濃戸山荘 P(12:00)～
（15:30）行者小屋（幕）

31日（晴）行者小屋(6:00)～（7:00）赤岳主稜取付(8:00)～主稜～
（12:20）赤岳頂上(13:30)～(14:30)行者小屋（幕）

1日（晴）行者小屋(9:00)～(11:30)美濃戸山荘 P～(17:30)横須賀

30日 晴天の中3名で八ヶ岳へ向かった。中央高速勝沼 IC 過ぎた
辺りから南アルプス北岳・鳳凰三山・甲斐駒が見えてくる。
南アルプスは、例年より雪が無く八ヶ岳もきつと少ないだろーと思い
南諏訪 IC 降りたら、やはり雪は何もなく美濃戸山荘の林道も雪が無
い。

こんなに雪が無いのは初めてで温暖化が進んでいるのだなと感じた。
美濃戸山荘（－4度）身の引き締まる思いで行者小屋に向かった。
行者小屋は正月営業していて登山者で賑わっていた。テント場は40
幕位張っていて1～2人用テントが目立つ。単独者が多く感じた。

31日 3:30 起床朝食をとり準備して出発。主稜取付に1P（3名）が登攀準
備をしていた。私達は2番手で登るのを待っていると後続Pが続々来
た。主稜ピッチ数は10p～12p位で河本にトップは頑張ってもらっ
た。登攀途中江川から右手中指が軽い凍傷になっていると告げられ河
本とビックリ晴天で風も無く何故（但し西面で陽は午後にならないと
あたらない）と思ったが登攀修了に近かったので頑張って登って貰っ
た。また東芝山岳会2名（山下氏）横須賀山岳会ですかと声をかけら
れ下越田さんに世話を成っていると挨拶があり、私達の後を登ってき
た。

3名無事に主稜登攀を終え文三郎新道から行者小屋に戻った。

1日 今日は中山尾根登攀予定でしたが、これ以上凍傷が悪化しないよう
にと下山することにした。行者小屋から美濃戸山荘 P に下り原村のモミ
ノ湯温泉に入って（¥500）冷えた体を温めて帰りました。

登攀感想： 今回冬季登攀に向け光沢寺・鷹取とトレーニングをしたお陰で
スムーズに登攀できたと思います。ルートは雪が少ない分逆に難
しかったと思いますが河本はバランスも良く落ち着いて登ってい
て最高のクライミングが出来たと思います。また皆本番で学んだ

ことと、反省を各自生かしてこれからも頑張っていきたいと思
います。